

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)

愛称：ポジティブ・チェンジ

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2023年6月27日～2023年12月25日

第28期決算日：2023年7月25日 第31期決算日：2023年10月25日

第29期決算日：2023年8月25日 第32期決算日：2023年11月27日

第30期決算日：2023年9月25日 第33期決算日：2023年12月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、円建ての投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第33期末 (2023年12月25日)	
基準価額	9,686円
純資産総額	27,566百万円
第28期～第33期	
騰落率	-1.0%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてESG要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>) でご覧いただけます。

ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったものです。

ファンドマネージャーのコメント

■運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。この中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを学んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。

また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

■ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

「WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC」は、バイオ医薬品などの製造工程の開発から、治験薬や商業生産を受託する医薬品開発製造受託機関（CDMO）です。他のCDMOと異なり、プロジェクトの初期段階より関与することが出来ることが同社の強みです。また、小規模なバイオテクノロジー企業などからのアウトソーシング需要の拡大

を背景に、CDMOは高い成長が見込まれることから、新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

「FDM GROUP HOLDINGS PLC」は人材関連ビジネスを手掛けております。同社は情報技術などの専門性に特化した人材に教育を行い、オンサイトやリモートでサービスを提供しておりますが、見込み顧客が同社のユニークなサービスを評価するのに時間を要し、当初想定していたよりも成長に時間が必要であることなどを考慮し、全売却しました。

■ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト（2022年12月末時点）

◎ASML HOLDING NV（平等な社会・教育の実現）

同社の製造する露光装置（リソグラフィー）は半導体製造において重要なプロセスを担います。同社のリソグラフィーはより短い波長の光を使用することで、より細かい半導体設計を可能とし、トランジスタのサイズを小さくすることを可能にしています。同社の製品は、エネルギー効率の良い半導体製造や、より小型で高性能な電子機器の製造に役立っており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

上記は、ベイリー・ギフォード社の情報を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

同社は2022年に345のリソグラフィーシステムを販売しており、この内40が極端紫外線（EUV）リソグラフィーシステムです。EUVは、従来より短い波長の光を使用する技術で、同社は世界で唯一のEUVメーカーです。

◎TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC
(平等な社会・教育の実現)

同社は継続的な投資で半導体の高性能化と低コスト化を実現しています。これはインターネットへのアクセスの低価格化の他、エネルギー効率の向上や、医療の進歩への貢献といったインパクトをもたらしており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に、12インチウエハー換算で1,530万枚を出荷しています。

■エンゲージメント（2022年12月末時点）

◎MERCADOLIBRE INC（平等な社会・教育の実現）

同社の戦略担当バイスプレジデントと会談し、運用チームは、物流及びフルフィルメントへの投資と戦略について議論しました。こうした投資と戦略は、同社の競争優位性を強化するのみならず、低所得層の顧客にサービスを提供し、低価格商品の取り扱いを拡大しつつ収益性を向上させることを可能にします。幸いなことに、同社は今後、多額の設備投資が必要になるとは考えていません。これは同社の物流戦略がソフトウェアとデータに重点を置いているためで、同社では1,500人の開発者が物流の最適化の実現に取り組んでいます。私たちはフィンテック事業についても議論しました。同社の不良債権は多額に見えるものの、実際には基調的な引受状況が急速に改善していることを理解しました。最後に、今回の会談は、同社が慢心を回避し、破壊的変革の可能性を引き続き探求するために、取締役会と組織の両方の観点から

実施している取り組みについて聞く機会となりました。

◎MODERNA INC（医療・生活の質向上）

同社の最高経営責任者（CEO）と運用チームはメッセンジャーRNA（mRNA）の将来性、同社による取り組みの優先順位付け、同社の競争優位性について詳しく議論しました。CEOは、多様な呼吸器系疾患のワクチン、具体的には、インフルエンザ、新型コロナウイルス、肺と気道に感染する呼吸器合胞体（RS）ウイルスを予防する混合ワクチンを提供するという野心的な目標について詳細に説明しました。mRNAは医療システムを変革する巨大な可能性を秘めており、その好例がワクチンです。インフルエンザ等のウイルスを予防するために、ワクチンを特定地域の特定株向けに設計できるようになれば、勤による作業を減らすことができます。同社は、リソース配分の優先順位付けにおいて、問題の規模と疾患の複雑性を考慮する体系的なアプローチを採用しています。野心的目標はこれだけに留まらず、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）やサイトメガロウイルス（CMV）等の潜伏性のウイルスに対するワクチンや、希少疾患の治療薬、個別化がんワクチンも開発中です。CEOは、重点分野、長期志向、リスクに対するポートフォリオアプローチ、デジタルネイティブという性質から、同社がmRNAの分野で他社より傑出していると考えています。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー（共同経営者）インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

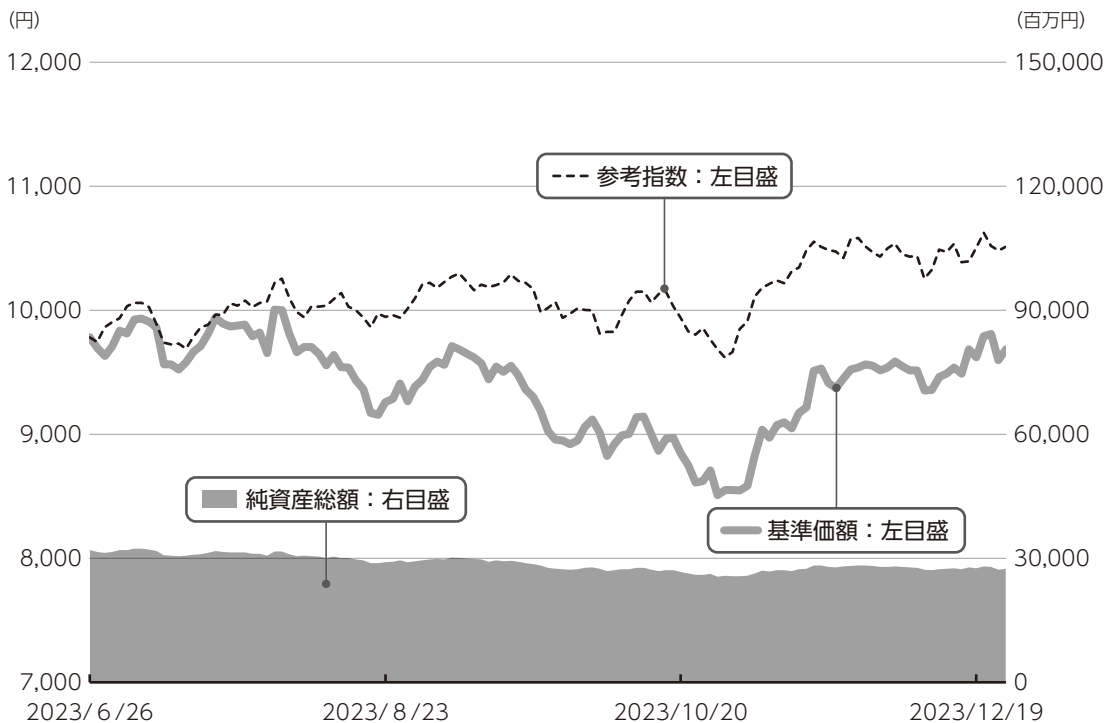
上記は、ベイリー・ギフォード社の情報を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

運用経過

第28期～第33期：2023年6月27日～2023年12月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第28期首	9,783円
第33期末	9,686円
既払分配金	0円
騰落率	-1.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.0%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

「MERCADOLIBRE INC」は、中南米で電子商取引事業などを展開しています。中南米ではeコマースの普及率が未だに低いため、今後数年に亘って高成長が見込まれます。また、同社はフィンテックを活用して、様々なオンライン及びモバイル決済ソリューションと金融サービスを提供しております。これらを通じて、中小企業や消費者は以前よりも簡単に無理なく金融サービスを処理・利用することが可能になり、経済成長及び事業者の収益拡大に寄与していると考えていることから保有しています。メキシコなどでの事業の成長が牽引し、市場予想を上回る決算を発表したことなどを背景に、同社の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。

下落要因

「ORSTED A/S」は、再生可能エネルギーの開発企業で、洋上風力エネルギーの世界的リーダーであるとみています。再生可能エネルギーインフラの継続的な構築は気候変動に対処する上で重要であり、同社は重要な役割を果たすことができると考えています。同社の評判と専門技術、大規模プロジェクトの管理能力、様々なステークホルダーとの連携により、適切な投資収益率（RO I）を達成できると考えていることから保有しています。計画の遅れに加え、インフレや金利上昇で事業費がかさんだことなどから米国の一部事業から撤退し、減損を発表したことなどを背景に、同社の株価が下落したことがマイナスに作用しました。

※参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2023年6月27日～2023年12月25日

1 万口当たりの費用明細

項目	第28期～第33期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	68	0.727	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(36)	(0.383)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.328)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	68	0.729	

作成期中の平均基準価額は、9,395円です。

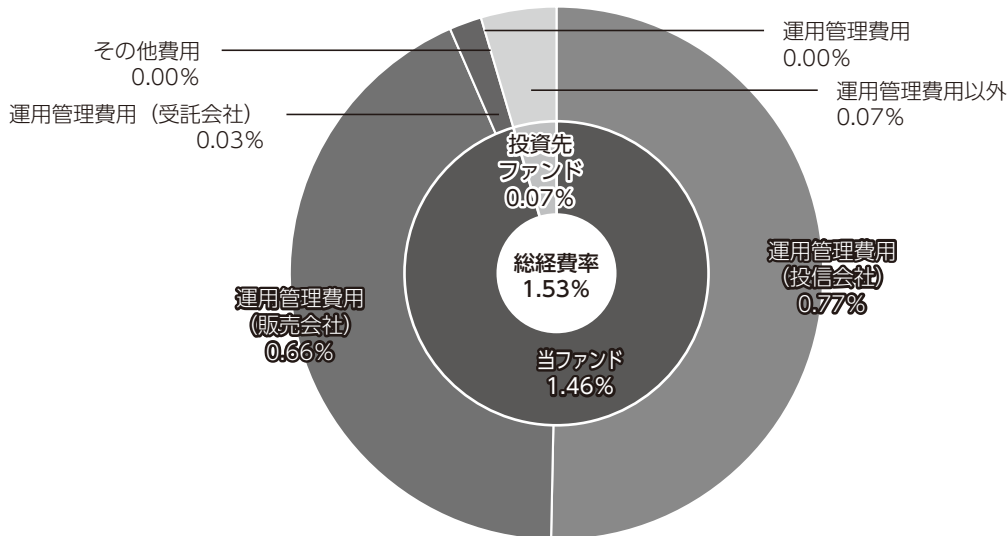
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.53
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.46
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.07

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の基準に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年12月25日～2023年12月25日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

				2021/12/27 期初	2022/12/26 決算日	2023/12/25 決算日
基準価額	(円)	-	-	9,960	8,155	9,686
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)		-	-	-	-18.1	18.8
参考指数騰落率	(%)	-	-	-	-4.4	29.8
純資産総額	(百万円)	-	-	41,622	30,509	27,566

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス (配当込み、円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第28期～第33期：2023年6月27日～2023年12月25日

投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年10月にかけては、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことなどを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が後退したことや、一部企業が良好な決算を発表したことなどから上昇する局面もありました。しかしその後、大手格付け会社による米国債や一部米金融機関の格下げに対する懸念や9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利見通しが引き上げられ、高い金利水準を長期間維持するとの見方が強まったことなどを背景に米長期金利が上昇したことなどから下落しました。11月以降は、主要中銀による政策金利の据え置きが発表されたことや、米国のインフレ率鈍化などを背

景に金利が低下したことなどから上昇し、期間を通じてみると上昇となりました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルは対円で下落したものの、ユーロは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.011%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券

（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ **ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション**

日本を含む世界各国（新興国を含みません。）の株式等（DR（預託証券）を含み

ます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

テーマ	比率(%)
平等な社会・教育の実現	40.9
医療・生活の質向上	25.5
環境・資源の保護	24.5
貧困層の課題解決	7.5

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※データはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

当期間の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

バイオ医薬品などの製造工程の開発から、治験薬や商業生産を受託する「WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

人材関連ビジネスを手掛ける「FDM GROUP HOLDINGS PLC」などを全売却しました。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当社ホームページ ([https://](https://www.am.mufg.jp/fund/254108.html)

www.am.mufg.jp/fund/254108.html) にて開示を行っています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当ファンドが投資する外国投資法人の運用に用いられるポジティブ・チェンジ戦略とインパクト・テーマおよびエンゲージメントについて紹介したものです。したがって、ご紹介している内容は当ファンドの投資対象ファンドの内容と異なる場合があります。

また、「ポジティブ・チェンジ戦略への投資が、社会に与えるインパクト」について、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/lp/positive_change/indicator/index.html) にて紹介しております。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、
利子等収益の確保を図りました。

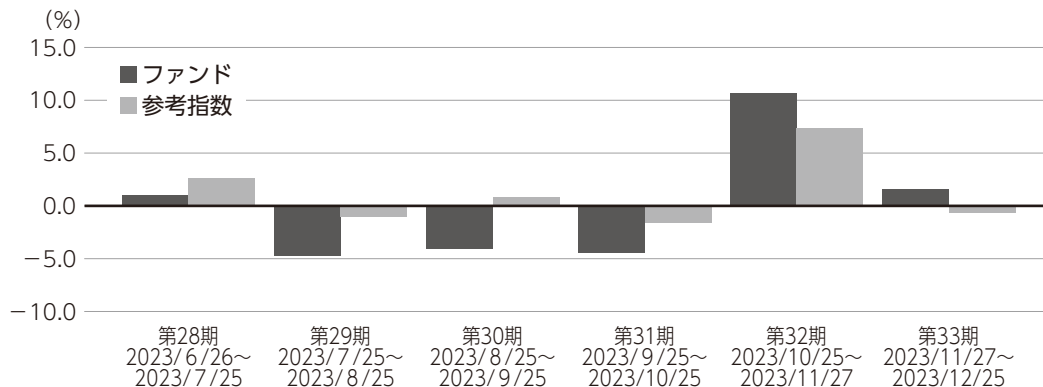
ポジティブ・チェンジ戦略のエンゲージメント活動

2022年は、35社の投資先企業との間で96回のエンゲージメントを行いました。これは、ベイリー・ギフォードが企業と頻繁に面談し、経営陣と強固な関係を築いていることを反映しています。

第28期～第33期：2023/6/27～2023/12/25

当投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス (配当込み、円ベース) です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第28期 2023年6月27日~ 2023年7月25日	第29期 2023年7月26日~ 2023年8月25日	第30期 2023年8月26日~ 2023年9月25日	第31期 2023年9月26日~ 2023年10月25日	第32期 2023年10月26日~ 2023年11月27日	第33期 2023年11月28日~ 2023年12月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	- （-%）	- （-%）	- （-%）	- （-%）	- （-%）	- （-%）
当期の収益	-	-	-	-	-	-
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	897	897	897	897	897	897

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

景気見通しや地政学リスク、各国の金融当局による金融政策の動向に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開となる可能性があるものの、短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと

考えています。

引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。

また、銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

なお、「貧困層の課題解決」のテーマでは更なる投資機会を探しています。具体的には、低所得国における起業の円滑化、アフリカのインフラの改善、インドにおける金融包摂の支援等を行う企業を継続的に調査しています。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

▶ その他

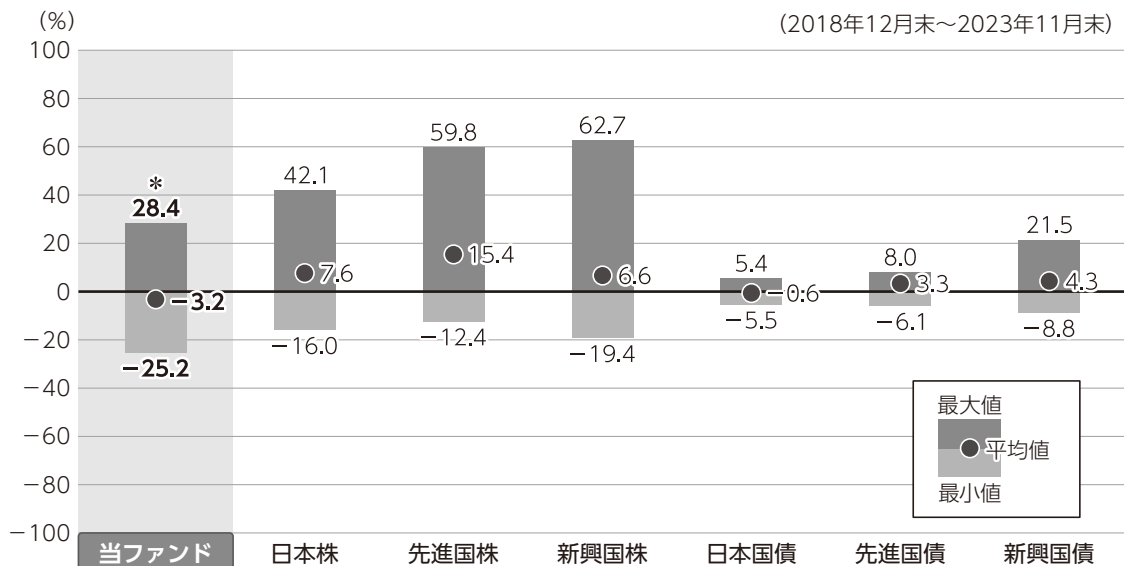
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2039年6月24日まで (2021年4月6日設定)
運用方針	<p>外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券 (クラスC・JPY・アキュムレーション) への投資を通じて、主として日本を含む世界各国 (新興国を含みます。) の株式等 (DR (預託証券) を含みます。) に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション</p> <p>日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。</p> <p>外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国 (新興国を含みます。) の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、予想提示された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年12月から2023年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2022年4月～2023年11月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年12月25日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	第33期末 2023年12月25日
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファン ドークラスC・JPY・アキュムレーション	97.6%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

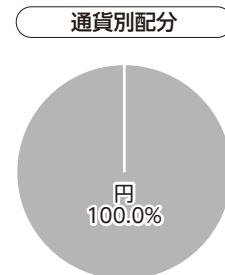
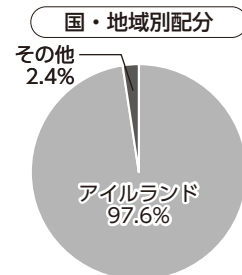
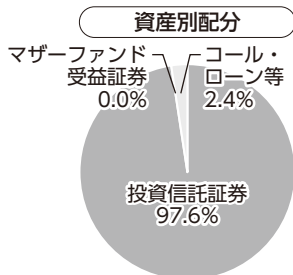
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第28期末 2023年7月25日	第29期末 2023年8月25日	第30期末 2023年9月25日	第31期末 2023年10月25日	第32期末 2023年11月27日	第33期末 2023年12月25日
純資産総額 (円)	31,469,401,301	29,526,365,421	27,743,224,213	26,023,376,720	28,263,659,758	27,566,196,369
受益権口数 (口)	31,855,890,826	31,375,520,082	30,735,608,542	30,177,044,571	29,626,366,931	28,461,270,992
1万口当たり基準価額 (円)	9,879	9,411	9,026	8,624	9,540	9,686

※当作成期間中（第28期～第33期）において追加設定元本は432,023,583円
同解約元本は4,662,878,925円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2022年9月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

基準価額の推移

2021年9月30日～2022年9月30日



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2021年10月1日～2022年9月30日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

組入上位10銘柄

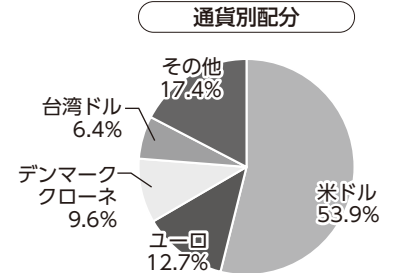
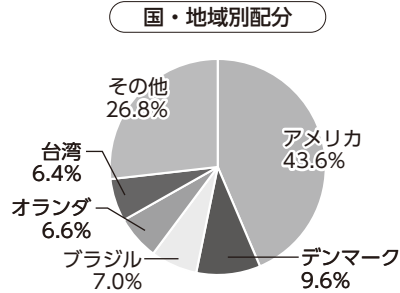
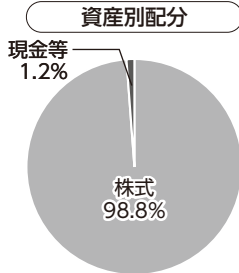
(組入銘柄数：33銘柄)

	銘柄	国	業種／種別	比率(%)
1	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	6.6
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	6.4
3	DEERE & CO	アメリカ	資本財・サービス	6.2
4	MERCADOLIBRE INC	ブラジル	一般消費財・サービス	6.0
5	DEXCOM INC	アメリカ	ヘルスケア	5.5
6	MODERNA INC	アメリカ	ヘルスケア	5.0
7	ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	アメリカ	ヘルスケア	4.9
8	BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	インドネシア	金融	4.6
9	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.4
10	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	インド	金融	4.2

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータはのベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

968469

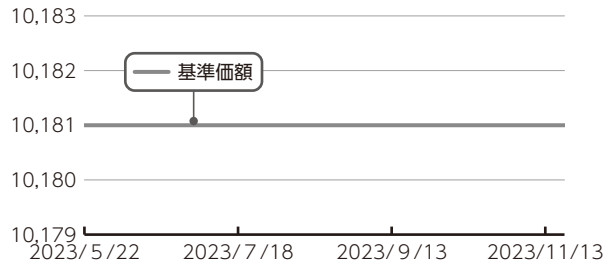
2023年11月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2023年5月22日～2023年11月20日
(円)



1万口当たりの費用明細

2023年5月23日～2023年11月20日
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：4銘柄)

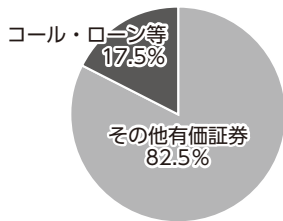
順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	ニッサンジドウシャ 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	58.9
2	ホンダF 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	14.7
3	グンゼ 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	5.9
4	アミカスF 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	2.9
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

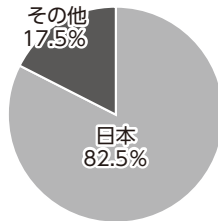
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

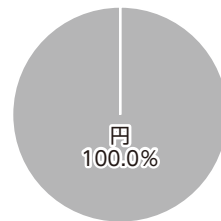
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とした他のファンドの余剰資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）』について

MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

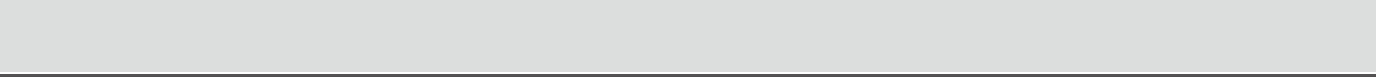
NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJアセットマネジメント